

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和6年10月11日(2024.10.11)

【国際公開番号】WO2022/118539

【出願番号】特願2022-566770(P2022-566770)

【国際特許分類】

C 0 9 D 2 0 1 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 D 5 / 1 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 D 7 / 6 2 (2 0 1 8 . 0 1)

C 0 9 D 1 8 3 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 C 3 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 C 1 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 9 D 2 0 1 / 0 0

C 0 9 D 5 / 1 0

C 0 9 D 7 / 6 2

C 0 9 D 1 8 3 / 0 0

C 0 9 C 3 / 0 6

C 0 9 C 1 / 0 4

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年10月3日(2024.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表面の少なくとも一部がリン酸で処理されている亜鉛または亜鉛合金の粒子の1種以上からなる防錆顔料を含有し、
前記リン酸が、オルトリン酸であり、
親水性有機溶剤をさらに含有することを特徴とする防錆塗料組成物。

30

【請求項2】

表面の少なくとも一部に無機リン酸および無機リン酸塩から選ばれる少なくとも1種を含有する皮膜を有する亜鉛または亜鉛合金の粒子の1種以上からなる防錆顔料を含有し、
前記無機リン酸が、オルトリン酸であり、
親水性有機溶剤をさらに含有することを特徴とする防錆塗料組成物。

【請求項3】

前記亜鉛または亜鉛合金の粒子が、略球形またはフレーク状であることを特徴とする請求項1または2に記載の防錆塗料組成物。

40

【請求項4】

水をさらに含有することを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の防錆塗料組成物。

【請求項5】

バインダーをさらに含有することを特徴とする請求項1～4のいずれかに記載の防錆塗料組成物。

【請求項6】

前記バインダーが、シラン系バインダーおよび有機系バインダー樹脂から選ばれる少な

50

くとも1種を含有することを特徴とする請求項5に記載の防錆塗料組成物。

【請求項7】

その他の金属顔料として、アルミニウムまたはアルミニウム合金の粒子をさらに含有することを特徴とする請求項1～6のいずれかに記載の防錆塗料組成物。

【請求項8】

請求項1～7のいずれかに記載の防錆塗料組成物を乾燥または熱処理して得られることを特徴とする防錆皮膜。

【請求項9】

請求項1～8のいずれかに記載の防錆塗料組成物を乾燥または熱処理して得られる防錆皮膜を表面に有することを特徴とする物品。

10

【請求項10】

フレーク状の亜鉛含有粒子と、その表面に無機リン酸および無機リン酸塩から選ばれる少なくとも1種を含有する皮膜とを有し、

前記皮膜に含有されるリン元素の含有量が、前記フレーク状の亜鉛含有粒子100質量部に対して0.05～2.5質量部であり、

前記無機リン酸が、オルトリン酸であることを特徴とする亜鉛系複合粒子。

【請求項11】

請求項10に記載の亜鉛系複合粒子と、アミン化合物とを含有することを特徴とする亜鉛系複合粒子含有組成物。

【請求項12】

前記アミン化合物が、1級アミンであることを特徴とする請求項11に記載の亜鉛系複合粒子含有組成物。

20

【請求項13】

界面活性剤をさらに含有することを特徴とする請求項11または12に記載の亜鉛系複合粒子含有組成物。

【請求項14】

前記界面活性剤が、非イオン性界面活性剤であることを特徴とする請求項13に記載の亜鉛系複合粒子含有組成物。

30

40

50